

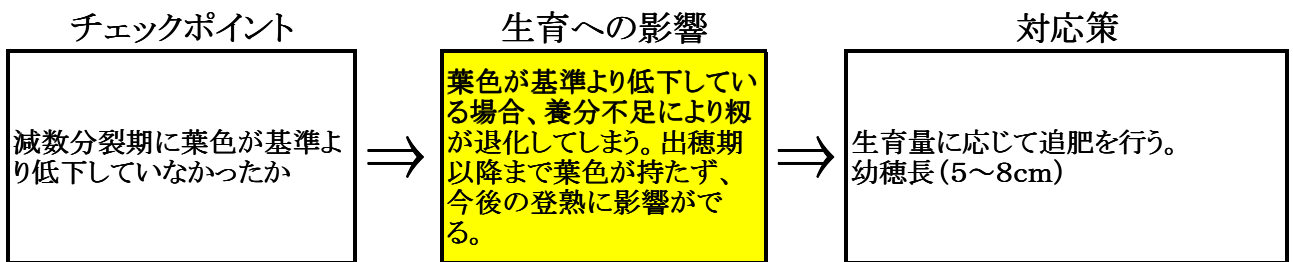
単収確保に向けて 《第8弾》

生育ステージに合わせて 適切な水管理を実施しよう！

単収確保に向けた重点実施事項

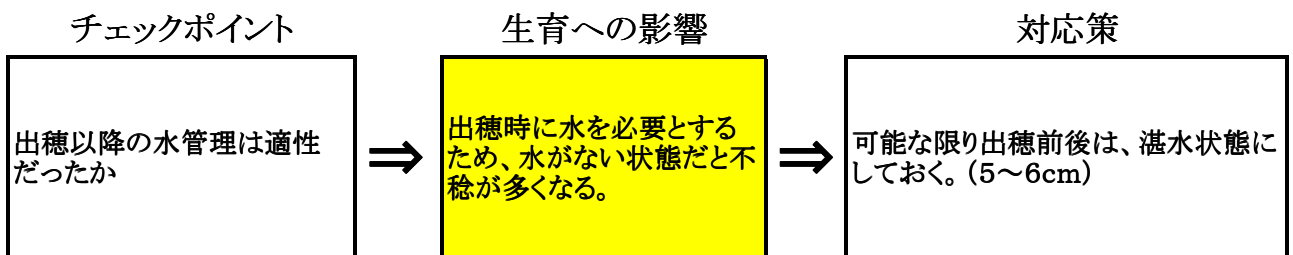
7月16日の管内の生育調査データによると、平年と比べて草丈がやや短めで茎数は多くなっており、葉令については、平年並みの生育スピードのなっておりますが、圃場によっては、減葉している圃場もあり、予定より出穂が早まる場合もありますので、各営農センターによる生育調査結果を確認の上管理作業をお願い致します。

◎今後の管理についてのチェックポイント



○減数分裂期の追肥の効果

- ・登熟の向上、稲体維持、高温時の乳白粒の発生防止に効果があります。



○今後の水管理について

- ・今後の水管理については間断かん水(2日湛水、3日落水)を行い、活力維持して下さい。
- ・出穂時に水を必要とするため、出穂直前から湛水状態にして下さい。
- ・高温、強風時には可能な限り湛水状態として下さい。

チェックポイントを点検し
該当する対応策を実施しましょう。